

行列と山車が町内を彩る…

福島大神宮例大祭 祭礼行列

9月13日（木）の岩部・浦和地区の門祓いから始まり、9月16日（日）の本祭までの4日間、福島町の秋の風物詩である『福島大神宮例大祭』が行われました。

4日間のうち9月15日（土）から9月16日（日）の2日間は、町内一円で「祭礼行列」が行われ、「大名行列」や「四ヶ散米行列」、「奴行列」が披露されたほか、各町内会の山車と踊りが披露されました。

今年は両日とも晴天の中での開催となり、笛や太鼓の音が近づく、沿道には多くの方が集まりました。通過後は、大きな歓声と拍手で行列が送られ、町全体が盛り上がった2日間となりました。

◆大名行列



笛や太鼓の音色に合わせ、福島大神宮の御祭神を乗せた神輿と、「猿田彦命」とともに町内を練り歩きました。

◆ やっこ 奴行列



松前藩公の行列を格調高く再現し、掛け声をあげて行列を行進しました。

◆ しかさご 四ヶ散米行列



弓、剣、刀を持ち、行列の先行で、勇壮と披露されました。